

# ベトナムにおける環境保全の必要性と企業の社会的責任

松澤 裕

MATSUZAWA Yutaka  
JICA Expert in MONRE

# 企業の社会的責任と環境保全

1. 企業は社会、国、地域の構成員であるから、経済活動の自由と責任の下、他の構成員と同じように社会、国、地域の発展に貢献する責任がある。
2. 社会や国や地域の発展なしに、企業のみでの発展などありえない。
3. 社会、国、地域の発展のためには、良好な環境を維持し、次の世代が安心して暮らせるように、良好な環境を次の世代に継承する必要がある。
4. 環境を破壊する企業(たとえば、河川や海や地下水といった水環境を企業が工場排水や廃棄物で汚染すること)は、社会的責任を果たしていない企業である。

# 企業の社会的責任と環境保全

1. 良好な環境を維持し、次の世代に継承するため、環境破壊行為を防止する社会のルールが、環境保護のための法制度である。
2. 社会の構成員である企業がこうした義務を履行するのは当然のことであり、ルールのもとで公正に競争を行うべきである。
3. ルール違反は、企業どうしの公正な競争を妨げ、産業全体の健全な発展を損なうものである。
4. 環境破壊行為は、ルール違反ということに加え、社会、国、地域の発展を損なう、二重の背信行為である。

# 経営者の責任

1. 経営者は、企業の社会的責任を果たすため、十分な注意を果たす義務がある。
2. 企業が、公正な競争に反する行為でもある環境破壊行為を行った場合、それが経営者の意思による場合はいうまでもなく、意思によらない場合であっても経営者は十分な注意義務を払っていないのだから、いずれにしろ、経営者は結果責任を問われる。

# 企業の社会的責任と経営

1. 環境保全のための費用負担を避けて、ルール違反、環境破壊行為を継続し、短期的な利益を追求するという選択は、ルールが尊重される社会では、リスクの大きな誤った選択である。
2. 俊敏に環境保全のための費用負担を決断し、一早く社会的責任を果たした企業には、先行者として、公正な競争上、有利な地位を獲得できるチャンスがある。

# 企業の社会的責任と経営

1. ベトナムで生産し、外国に製品を販売するという、グローバルなサプライチェーンは、ベトナムの企業にとって、事業の成長の方向の一つである。
2. 企業の社会的責任を果たしリスクの小さい経営を行っている企業と、企業の社会的責任を果たさずリスクの大きい経営を行っている企業のいずれが、外国のパートナー、消費者から見て、信頼できるパートナーかは自明である。

# 企業の社会的責任と経営

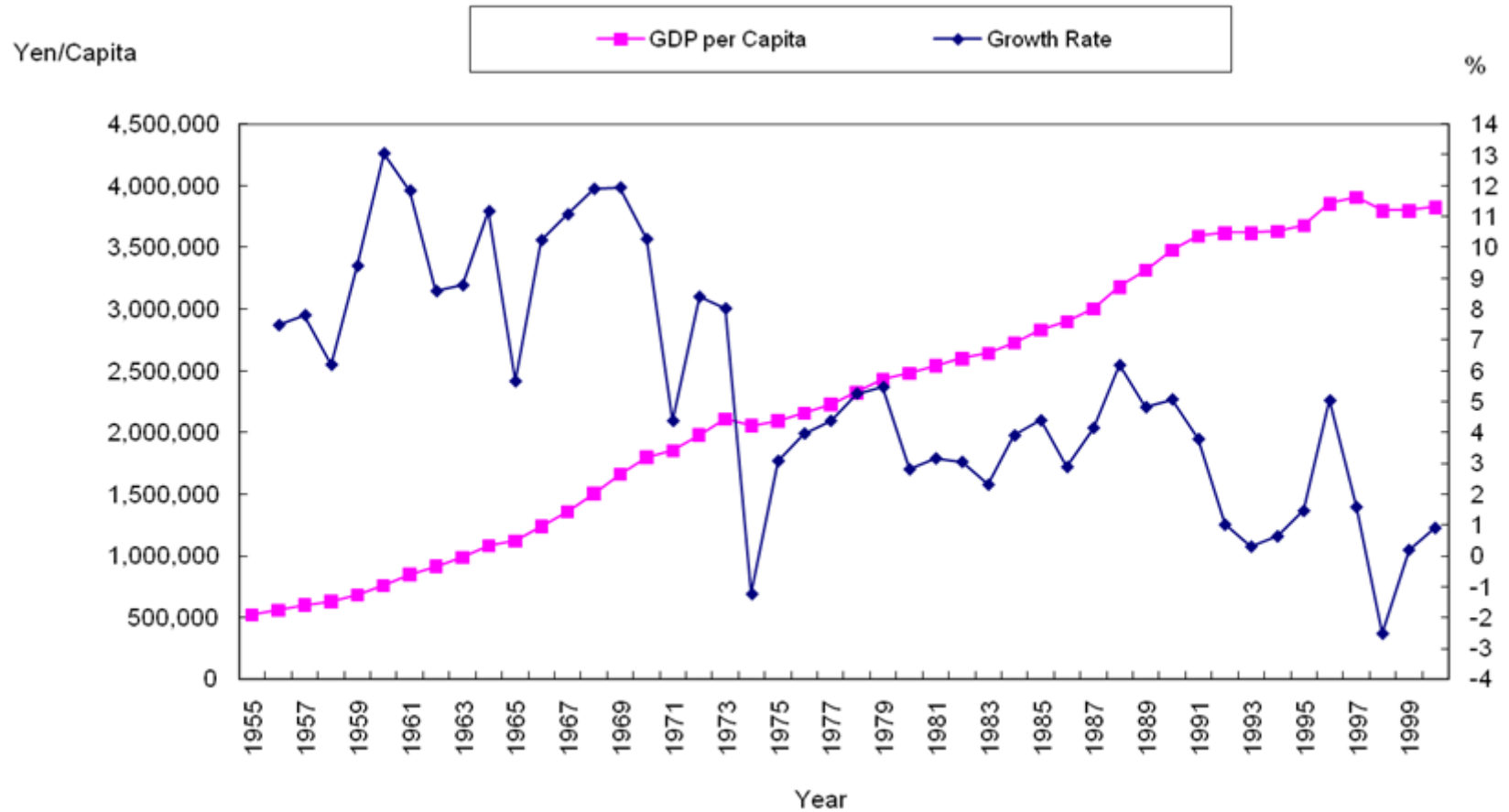
1. 食品産業は農業水産業に依存し、農業水産業は環境に依存する。
2. 農業水産業との連携が、食品産業が成り立つ前提である以上、環境を保全し、農業水産業の基盤を守ることは、食品産業の継続的な成長のために不可欠である。
3. ベトナムの食品産業が未来においても発展するためには、ベトナムの農業水産業の健全な発展を助け、ベトナムの消費者に対して安全で良質な製品を供給することが不可欠である。

# 企業の社会的責任と経営

1. ベトナムの食品産業が未来においても発展するためには、グローバルなパートナーとの信頼関係の構築が必須である。
2. 加えて、ベトナムの食品産業がよってたつ、ベトナムの農業水産業の健全な発展を助けることが不可欠である。
3. いち早く、ベトナムの消費者、外国の消費者に対して安全で良質な製品を供給する企業であることを宣言し誓約することが、賢明な選択というものである。

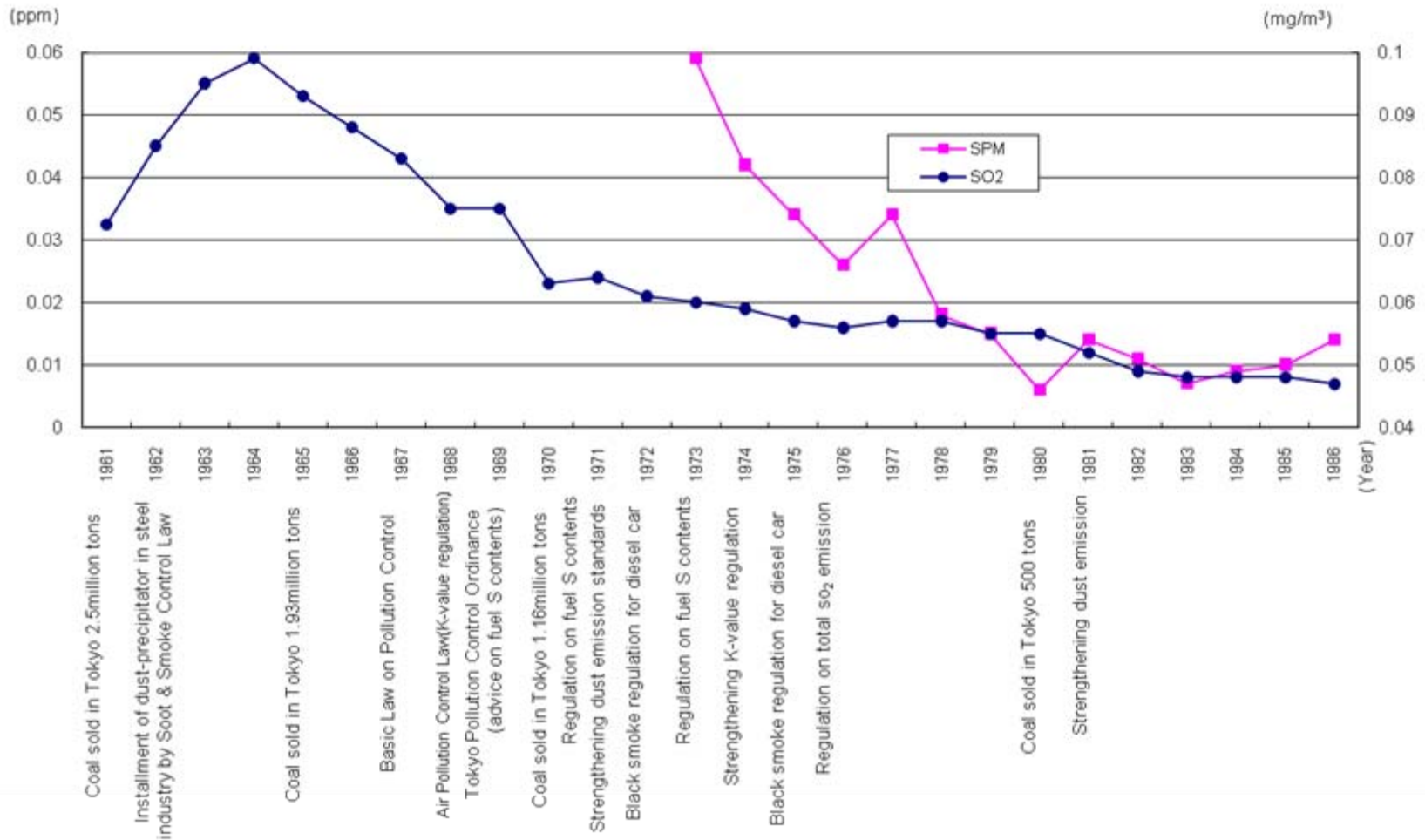


# 日本の経験



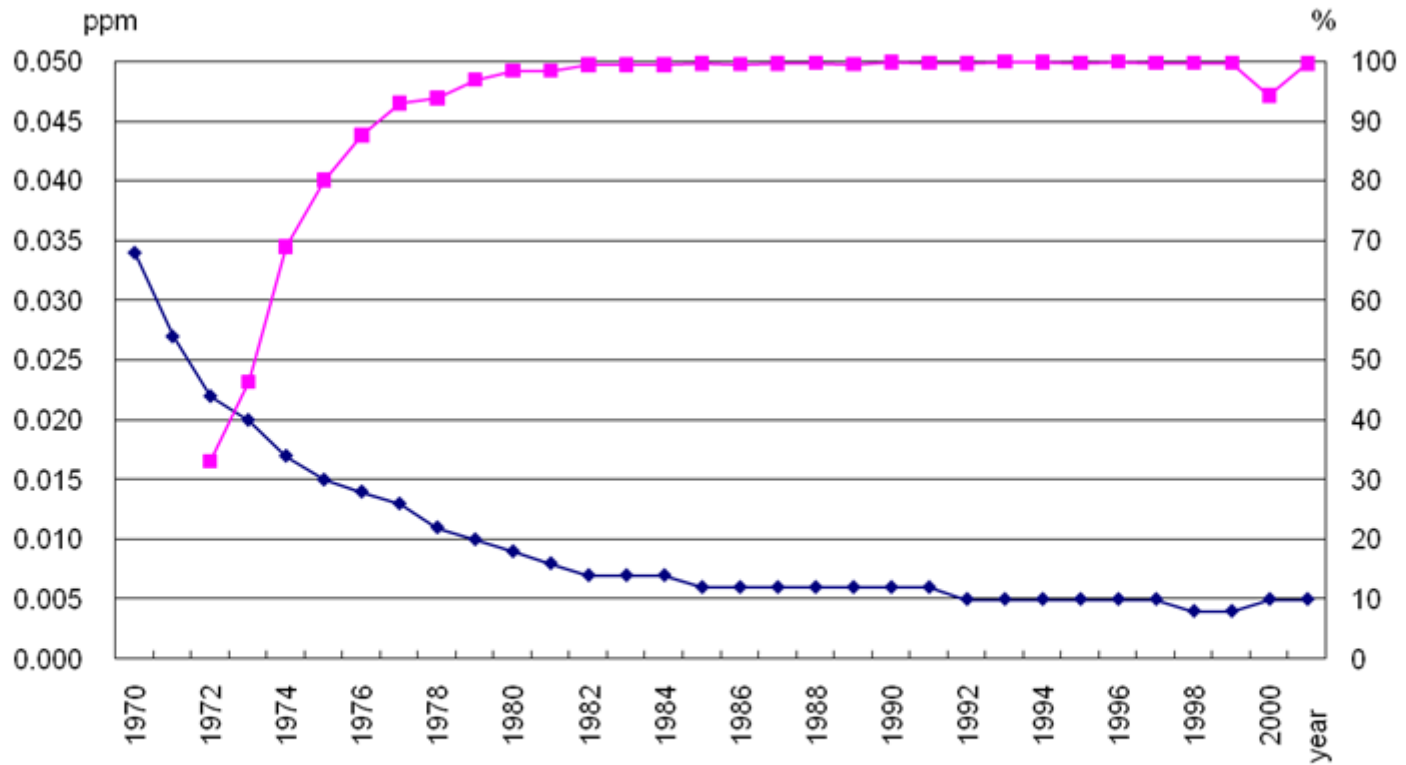
日本の実質一人当たりGDP(1990年価格)

# 日本の経験



東京都における各種対策と大気環境濃度の改善状況

# 日本の経験

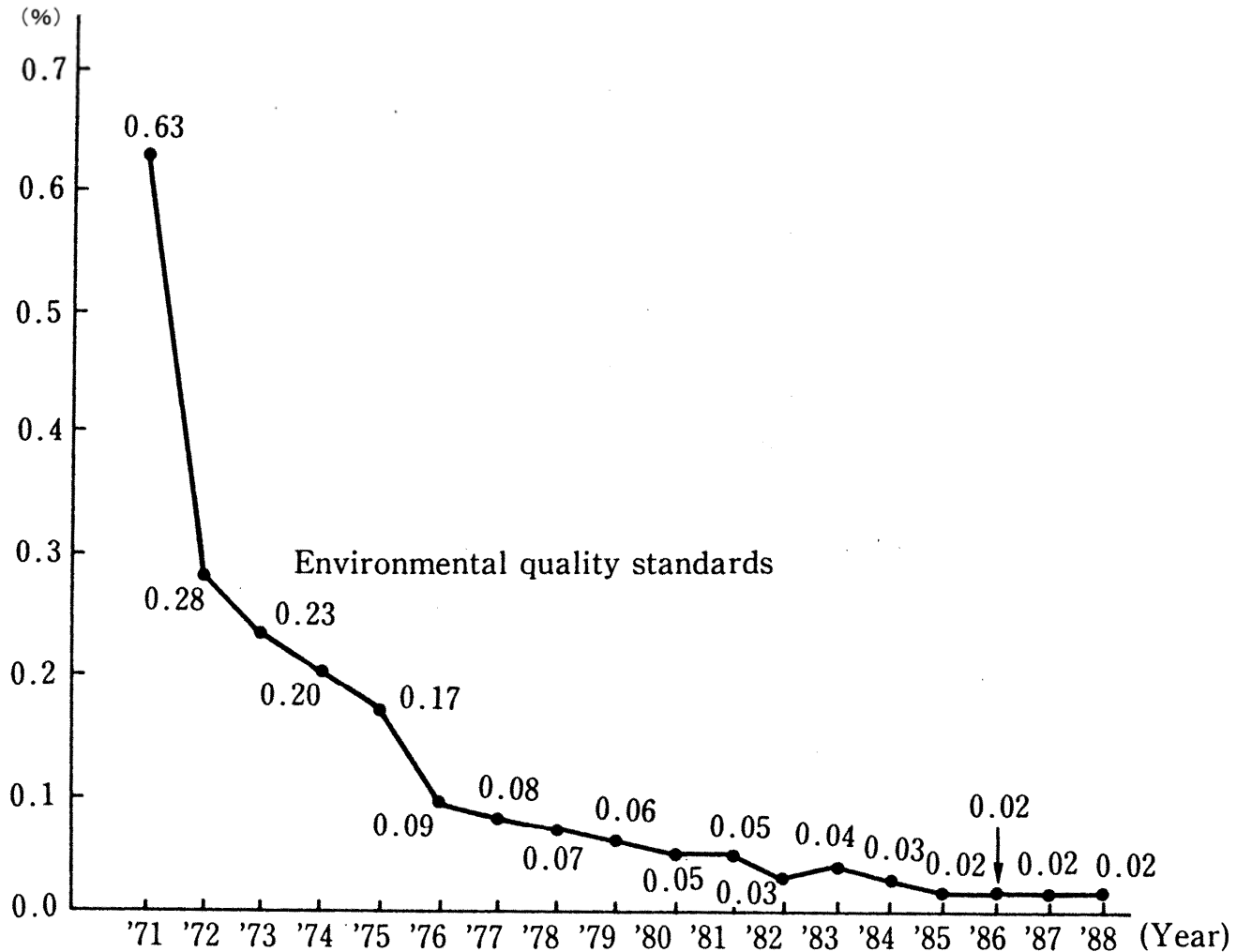


◆ SO2 concentration

■ Ratio of monitoring stations meeting environmental standards

二酸化硫黄濃度の年平均値と環境基準達成測定地点割合の推移

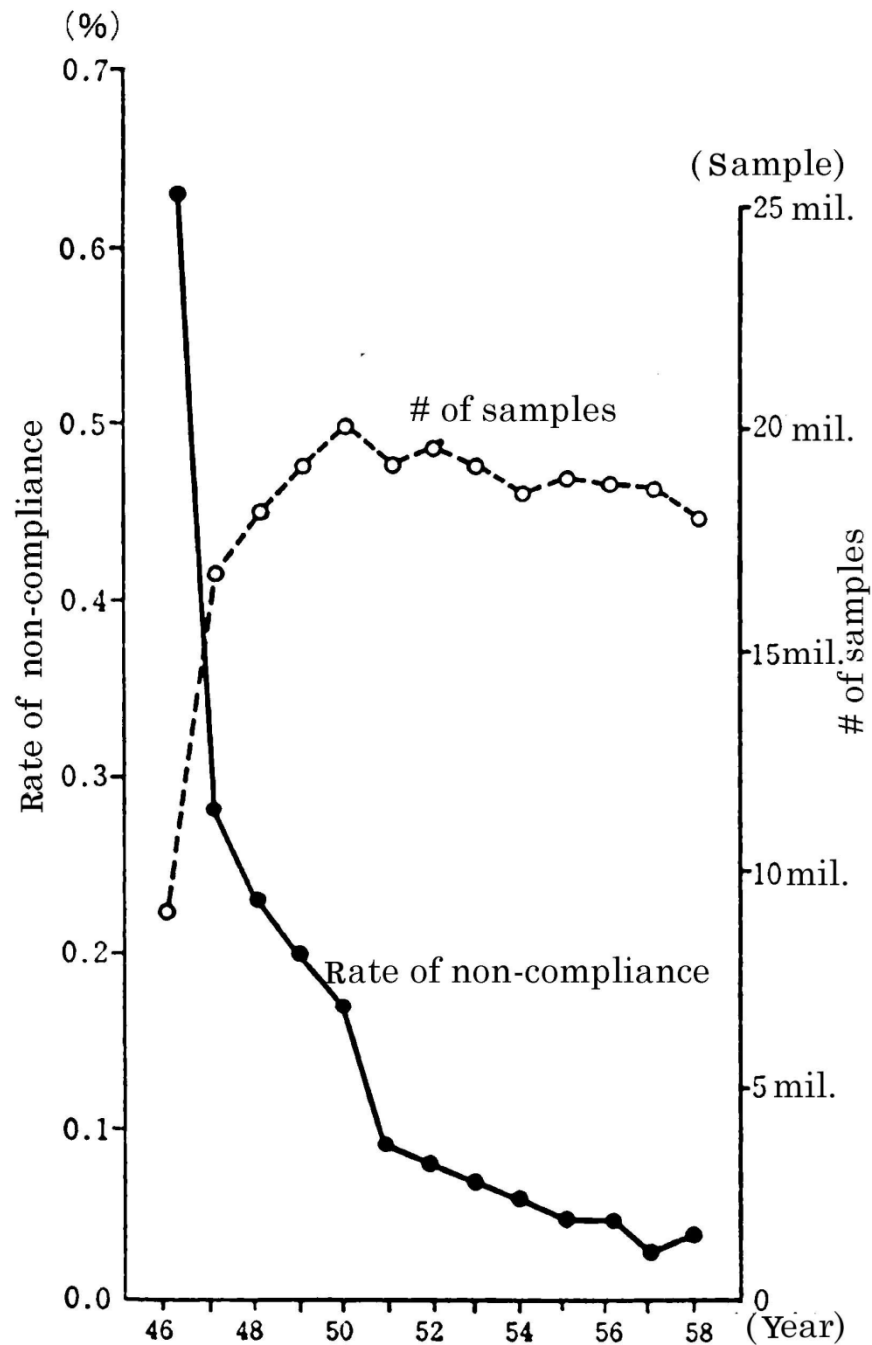
# 日本の経験



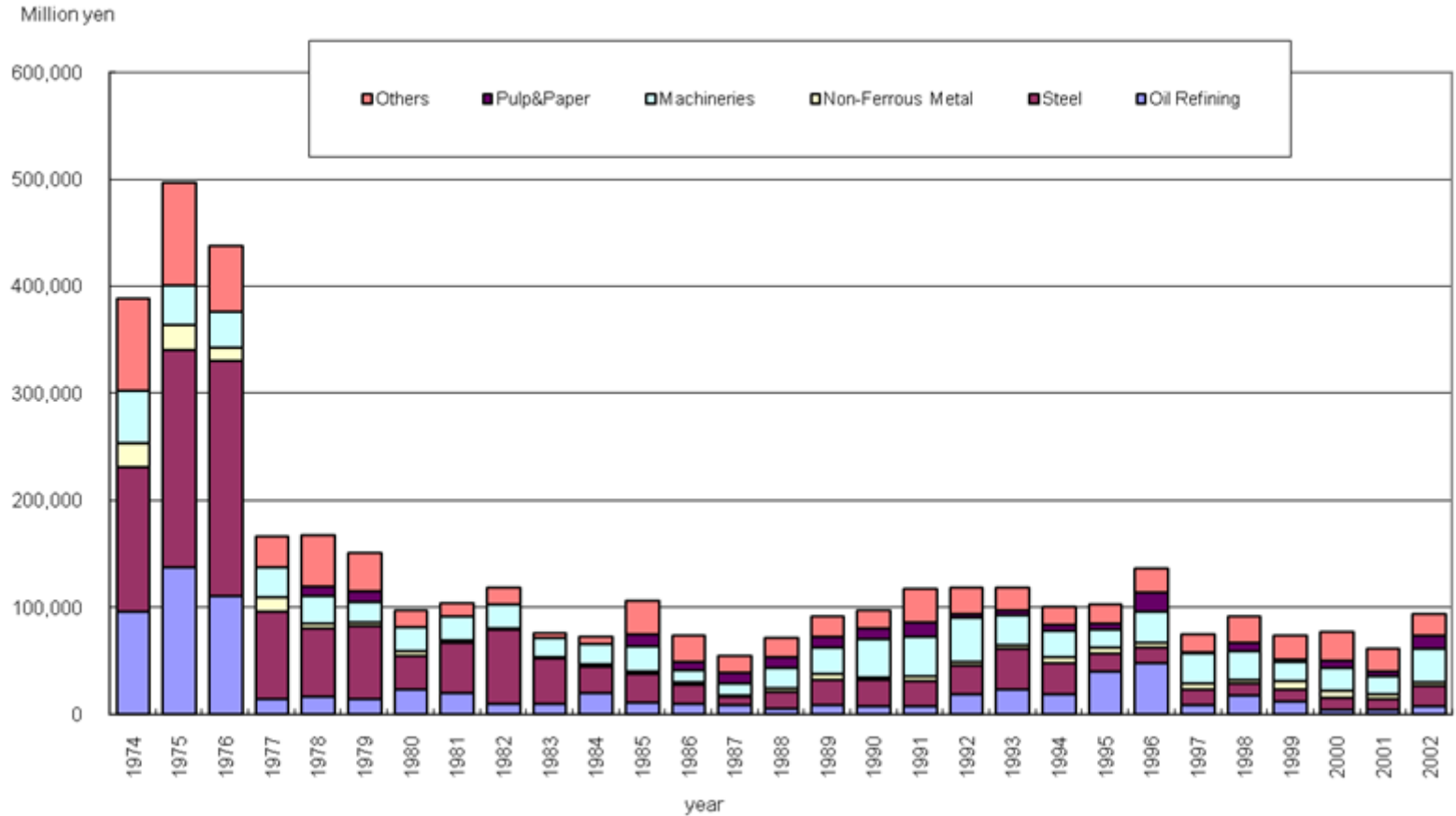
日本の河川及び海域の環境基準未達成率の推移

# 日本の経験

汚染源での排水中有害物質の不適合率の推移

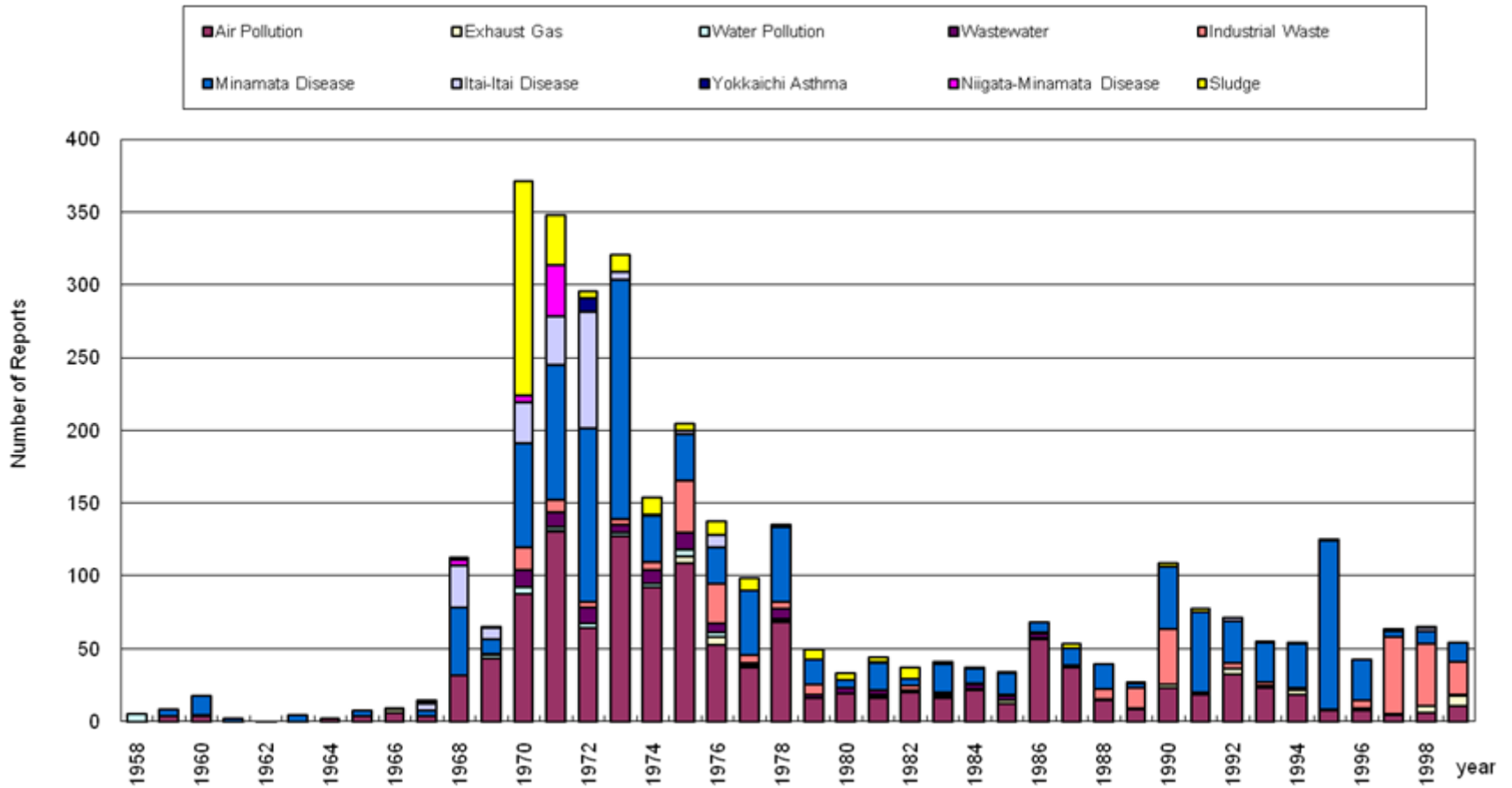


# 日本の経験



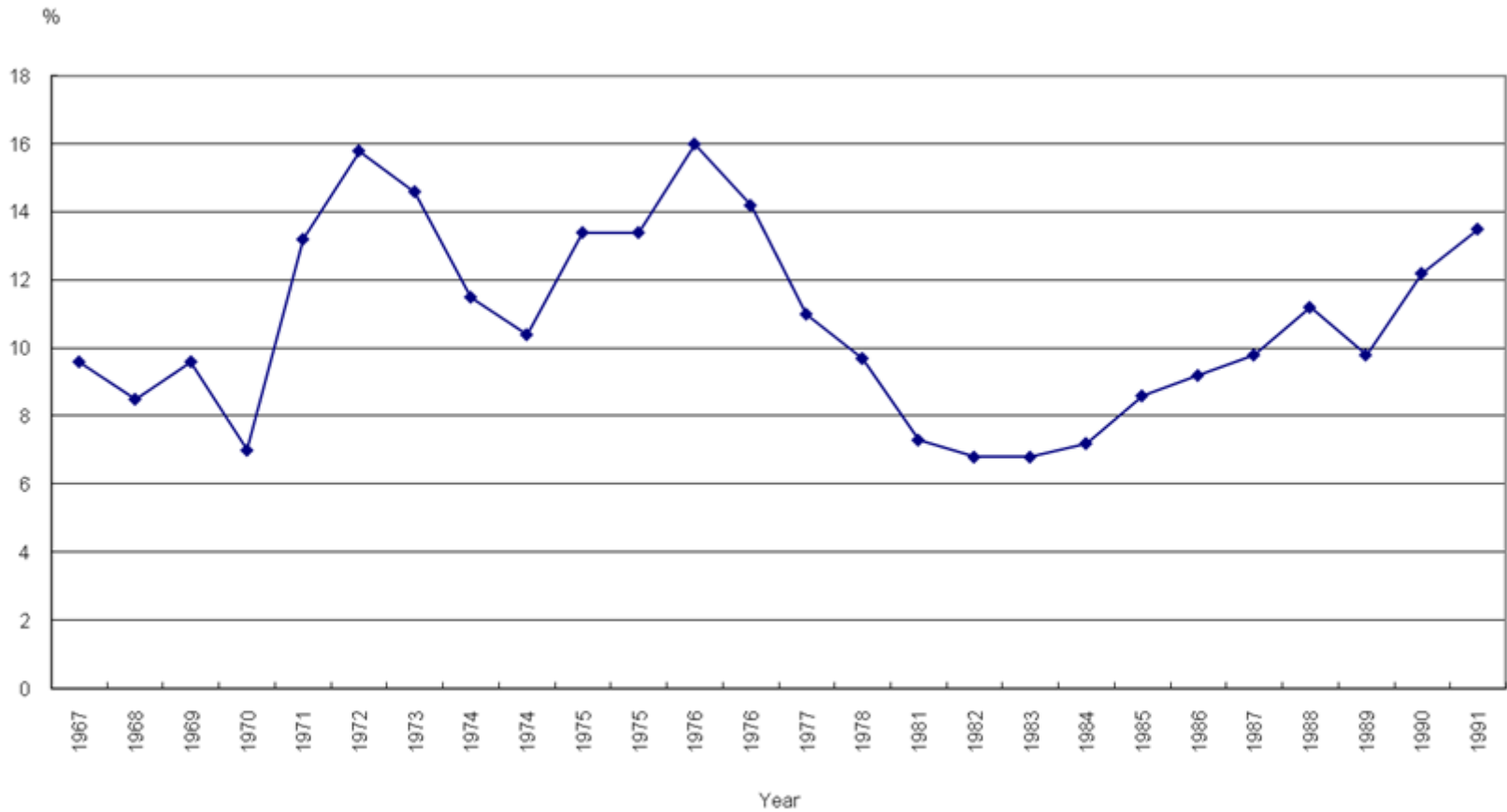
主要業種別の主要事業所における公害防止投資額の推移

# 日本の経験



朝日新聞による産業公害関連報道件数

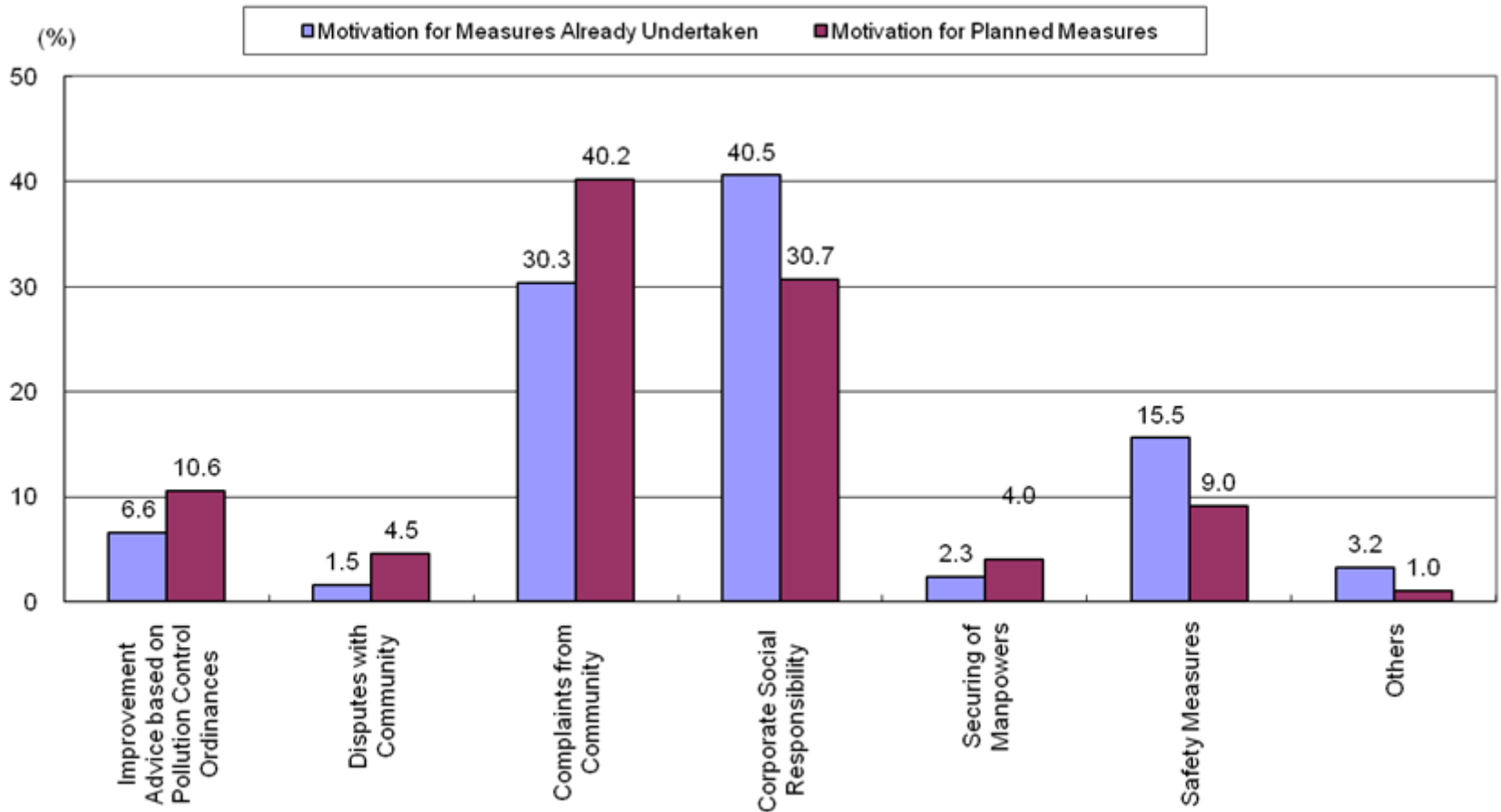
# 日本の経験



世論調査の政府に対する要望のうち生活環境整備への要望



# 日本の経験



公害防止対策の動機

# まとめ

## 将来も発展する経営戦略

1. 早く社会的責任を果たす
2. 社会、消費者に宣言・誓約しアピールする
3. ルール違反の者の行為を是正するよう、地方政府に働きかけ、公正な競争状態をつくりあげる
4. 食品産業と農業水産業との連携を強くし、良質な製品を安定的に消費者に供給できるようにする